



気仙沼市 社協だより

編集
発行

社会福祉法人気仙沼市社会福祉協議会

《公式ウェブサイト》 気仙沼市社協 <http://kesennuma-shakyo.jp/>
ボランティアセンター <http://svc.miyagi.jp/dvc/hp/kesennuma>

唐桑支所 ◆ 気仙沼市唐桑町石浜282番地3(唐桑保健福祉センター「燦さん館」内)
TEL 0226-31-2051/FAX 0226-31-2052
E-mail : karakuwa-shakyo@ceres.ocn.ne.jp

本 所 ◆ 気仙沼市東新城二丁目1番地2
TEL 0226-22-0709/FAX 0226-22-4467
E-mail : keshakyo@watch.ocn.ne.jp

本吉支所 ◆ 気仙沼市本吉町津谷館岡51番地6
TEL 0226-42-2231/FAX 0226-42-1241
E-mail : moto-sha@kind.ocn.ne.jp



ほんの小さな
やさしさが
広がる大きな支援の輪



赤い羽根
共同募金

10月1日▶12月31日

10月1日から「赤い羽根共同募金運動」が
全国一斉に始まります。今年も皆さまのあたたかいご支援とご協力をお願いいたします。



気仙沼市社協

敬老作文 最優秀賞

「よつちのこと」

鹿折小学校一年 渡邊 佳乃子

よつちは93さい。わたしのひいおばあちゃん。やさしくてすごいひいばあちゃんです。よつちは、とおいとおいとつとりうまれ。わたしは、あつたことのないひいおじいちゃん、まんしゅうというところであつてけつこんして、けせんぬまにきたそうです。

さいおようふくもかんたんになおしてくれました。

わたしは、よつちがだいすきです。おばあさんのに、きれいにけしようにして、おいておしやれです。きれいずきでいつもおへやはピカピカのひみつどうぐです。ねころんでおかしをたべたらとてもおこられました。

よつちには、すごいところがたくさんあります。そのなかでも、わたしがいちばんすごいとおもっているところは、かぞくみんなのおようふくをぬってなおすところ。ぬってなおすのは、かぞくでよつちだけ。よつちのひみつのぬいものパワーです。わたしのたいせつなおにんぎょうのちい

さくさんおせわになつてるよつち。いつもありがとう。

わたしは、これからよつちよりもすぐすてきなじよせいになります。よつちよりもすてきにならないと、よつちのおせわができないから。これからよつちのてだすけをたく

さんしておんがえしをたくさんしていききたいです。

気仙沼市社協では、九月十三日に敬老作文コンクール審査会を開催しました。市内の小学校一年生から六年生を対象に作品を募集。今年は六十六作品の応募がありました。審査の結果、最優秀賞に六編（各学年一編）、優秀賞に十八編（各学年三編）の作品が選ばれました。今号では、最優秀賞作品をご紹介します。

大すきだよ

大島小学校二年 津島 瑠人

おじいちゃん、元気でまぐろをとっていますか。こんどは、いつ帰ってきますか。大きなふねにのって、たいへい

ようのまん中でまぐろをおいかけているおじいちゃんは、ぼくのじまんです。

ぼくは、おじいちゃん

本一のせんだうさんだと思っ

ているよ。ぼくは、おじいちゃんのとってきたまぐろのおさしみとおすしが大大すきです。スーパーで買ってきたまぐろとは、あじがぜんぜんち

これからはながいきしてください、よつち。

がうね。

おじいちゃんとは、ときど

きテレビのリモコンのとりあ

いをするね。でも、おじいちゃん

のひざは、いつだつてぼくの

のしていせきだよ。ぼくの頭をなでくれる手は大きくて、あたたかくて、しあわせな気持ちになるよ。

おばあちゃん、まい日学校にむかえに来てくれてありがとう。ぼくがおばあちゃんにむかつて走っていくと、「おかえりなさい、瑠人。」

と言って、ぎゅうつてしてくるね。少しくるしいけれど、心があたたかくなります。お母さんが帰ってくるまでいつもいっしょにいてくれるから、さびしくないよ。それに、ぼくが本を読んだり、お手つだいをしたりすると、いつもいっばいほめてくれるね。しかるときにはとてもこわいけど、ぼくのためだっていうこと、ぼくはわかつてるよ。

それから、おばあちゃんのお作ったカレーは、日本一のおいしさだよ。これからいっばいおかわりするから、また作ってね。

おじいちゃん、おばあちゃん、ぼくがおとなになったら、おんせんにつれていってあげるね。だから、体に気をつけて、これからも元気で長生きしてね。大好きだよ、おじいちゃん、おばあちゃん。



じいちゃんとの思い出

階上小学校三年 柳山日陽^{やなぎやまひよ}

わたしのじいちゃんは、いつもわたしに楽しいことを教えてくれます。

今まで色々なことをいっしょにやってきましたが、その中でわたしがいちばん楽しいと思うのは、つりです。じいちゃんは、つりがすきなので、わたしも小さい時からいっしょに海に行って、エサのつけ方や、さおのなげ方などを教えてもらっていました。いちばんさいしょにつれたのは、小さいサバとアジでした。じいちゃんは、

「日陽うまいねえ。」

と言って、ほめてくれました。とてもうれしかったです。そのあとも、何回もつりに行って、じいちゃんにつり方を教えてもらいうちに、ヒラメなどもつれるようになってきま

がいつぱいつると、よろこんでくれます。つったいわなをしおやかにして食べるのも楽しみです。

それから、じいちゃんはまた年、家のにわに、野さいをうえてくれます。わたしは去年野さいをうえるのをてつだいました。じいちゃんと野さいのなえを買いに行つて、いっしょにうえました。わたしは野さいに水をあげて大きくなつた野さいをとるたんと

うをしています。じいちゃんは、野さいのまわりに生えている草をかつたり、野さいがどれくらい大きくなっているかを見てくれて、このくらいの大きさになつたら、もうとつてもいいよと教えてくれます。

今年は、わたしがすきなトウモロコシと、ミニトマトをうえてくれました。ミニトマトは、赤いのがたくさんでき



ロコシは、少しだけできたのを、わたしがぜんぶ食べてしまったので、今度できたら、じいちゃんに食べさせてあげようと思います。自分たちでうえた野さいはとてもおいしいので、またいっしょにうえたいです。

わたしのじいちゃんは、おもしろくて、いろんなことを知っていて、なんでも自分で作ることができるので、すごいと思います。たまに、おこるときもありますが、いつもいっしょにあそんでくれるじいちゃんが大好きです。長生きをして、もつともつと、わたしが知らないことを教えてもらいたいと思います。



ぼくのばあちゃん

大島小学校四年 前田悠喜

ぼくのばあちゃんは、七十
五さいです。スーパーでおそ
うざいを作る仕事をしていま
す。ばあちゃんはとても明る
くてやさしいです。いつもぼ
くと妹をさん歩に連れていつ
てくれます。ぼくは、ばあちゃ
んの昔の話を聞くのが好きで
す。例えば、幼いころせん争
で防空ずきんをかぶせられて、
防空ごうというミサイルをお
せぐ場所におんぶされて、連
れていかれた話を聞きました。
食べ物がない時代で大変だっ
たそうです。だからばあちゃ
んは、食べ物を残すのが嫌い
で、ぼくがご飯を残すと
「もったいない」
と言って全部食べてくれます。
そんなすがたを見ていると、
これからはなるべく残さず食
べようと思います。そしてば



とほめてくれたり、マラソン
大会で一位をとった時は
「すごい。すごい。」
と大げさなくらいにほめてく
れたりしました。ぼくはいつ
もほめられるとうれしくなっ
て、次も頑張ろうという気持
ちになります。そんなばあ
ちゃんとは、一晩だけは
なれて過ごした事があります。
ぼくが仙台の病院にお母さん
と行って、一泊した時です。
毎晩一緒に寝ているばあちゃ
んとはなれて過ごした夜は、
とてもさびしくて布団にも
ぐったら涙が出てきました。
早く明日がくるように、急い
で寝たのを覚えています。
やっぱりぼくは、毎日ばあ
ちゃんと一緒にいたいと思
いました。いつも一生けん命
働いているばあちゃん。ぼく
が大きくなったら、ばあちゃ
んの好きな温泉に連れていっ
てあげるからね。それまで絶
対に元気で長生きしてね。

優秀賞

- だいすきなばあちゃん 気仙沼小二年 熊谷 愛月
- だいすきな大しまばあ 面瀬小一年 加藤 敦寛
- ぼくとじいちゃん 大谷小一年 小野寺翔生
- ぼくとひいばあちゃんの三本しようぶ 九条小二年 小野寺虎鉄
- みんなに見まもられて 中井小二年 小山 鈴
- うんどしようよ おじいさん 小泉小二年 三浦 昊大
- ばばちゃんを見習って 気仙沼小三年 齊藤 鈴
- ぼくのおばあちゃんナンバーワン 松岩小三年 吉田 空詠
- ぼくのおじいちゃん 唐桑小三年 吉田 空羽
- わたしのおばあちゃん 松岩小四年 佐藤 花連
- ばばのババロア 面瀬小四年 若生 悠汰
- あこがれ 月立小四年 尾形 春陽
- おじいちゃんとの共同作業 松岩小五年 斉藤 慎吾
- 小さいばあちゃん 大島小五年 小松 優
- ばあばの手、じいじの手 唐桑小五年 千葉菜菜恵
- 何でも頑張るおばあちゃん 気仙沼小六年 千葉 優逢
- ぼくとひいばあちゃん 新城小六年 三浦 珀
- まだまだ元気で 大島小六年 渡部 愛乃



天国のじいちゃんへ

九条小学校五年 村上 めぐ

じいちゃん、じいちゃんが亡くなって、もう一年が経ちました。私は五年生になった

す。じいちゃんの作るスコーンが私は大好きでした。

よ。今年の夏は、とても暑くて、ようち園の時に、じいちゃんにプールを出してもらった

事を出しました。

庭の梅の木になった梅の実で梅干しを作ってくれたり、

ベランダで苺をたくさん作ってゼリーにしてくれたり、この時期にはピーマン、トマト

やナスも育てていました。野菜や果物を育てたり、それで

色々な料理を作るのが大好きだったじいちゃん。

ごはんやおかし、ひなまつりにはおひな様とおだいり様の顔がついたおすし、私と姉

の一人のたんじょう日には、手づくりのおたんじょう日

ケーキを作ってくれたそうです。

「上手にできたね。」

と、ほめてくれるじいちゃん。でも、口に合わない時は無理

に食わず、だめだしをして残す、という分かりやすいじい

ちゃん。でも、じいちゃんにされると私は、

（今度はもっとおいしく作ってやる！）

と、チャレンジする気持ちがわいてきました。

毎日ずっといっしょにいた家族がいなくなってしまう。

でも、自分の気持ちや感謝の言葉は伝えられます。だから、日ごろからありがとうや

ごめんなさい、と伝えることが大事だと思います。

私は、自分の夢を実現するために、やらなくてはいけないことをがんばっていきます。

おいしいパンを作って人を笑顔にしたいです。

天国から応えんしてね、じいちゃん。

毎日ずつといっしょにいた家族がいなくなってしまう。

でも、自分の気持ちや感謝の言葉は伝えられます。だから、日ごろからありがとうや

ごめんなさい、と伝えることが大事だと思います。

私は、自分の夢を実現するために、やらなくてはいけないことをがんばっていきます。

おいしいパンを作って人を笑顔にしたいです。

天国から応えんしてね、じいちゃん。



◆◆ 平成30年敬老作文講評 ◆◆

市社協では、敬老の日を迎えるに当たって高齢者への尊敬や感謝、いたわりの気持ちや心のふれあいなどを通じ、児童が高齢者に対する理解を深めながら敬老の心を培うことを目的とした敬老作文コンクールを行い、市内15の小学校より66点のご応募を頂きました。

元教員、福祉関係者など9名の審査員による厳正なる審査によって、各学年最優秀賞1点、優秀賞3点が選ばれました。

【講評】

1・2年生…おじいちゃん、おばあちゃんを尊敬し、大好きであることが手に取るように分かる。同居している

児童はよく観察し、生き生きと表現しているし、同居していない児童は、常に傍にいないなりに心

を通わせていることが伝わってきた。また、曾祖父

父母が元気なことがわかる作文が多くあった。

3・4年生…祖父母の一日の暮らしぶりや働く姿をよく見ている。また、祖父母の健康を心から気にかけている

ことが作文に表れている。心身ともに発達期である

学年であるが、思いやりの心、我慢する心が祖父母

を通して身に付いており、素直に成長していることがわかる作文が多くあった。感じる心に感

心した。

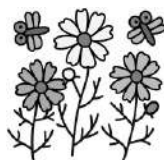
5・6年生…祖父母に対する優しい素直な気持ちを書き綴っている作文が多く、祖父母との交流を自分の生き方に

活かそうとしていることが伝わってきた。また、祖父母

からの励ましは、子ども達にとって大きな生きる力とな

っていると感じた。

来年もまた、心温まる多くの作品と出会えることを楽しみにしています。



水梨小学校六年
熊谷瑚衣

たおっぴさんでした。一人で着替えもでき、お風呂も食事も洗濯も何でもやっていたからです。

「友達といっぱい遊んだからだよ。」と話してくれました。

おっぴさんの曲がった腰や

と話してくれました。

昨年のおつぴさんは突然倒れて入院しました。お医者さんから何度も助からないと言われましたが、その度に意識を取り戻し、お見舞いに行くと私を手招きして喜んでくれました。

時々痛がる膝は、働きの証でした。私が覚えているおつぴさんは、茶の間に座ってテレビ見ています。田んぼの心配をし、天気はどうかと空模様や風向きを気にかけてたり、稲刈りが近づくすとスズメを追

私がまだ低学年だった頃は、おはじきやオセロ、トランプをして遊んでくれました。中でもおはじきはとても上手で、するばかりでした。

いつも私は負けてばかりいました。農業で一生けん命に働いた指は、関節が曲がつて太くなっていました。その指を器用に動かしておはじきを次々と取っていました。

（おつぴさんはすごいなあ。

昔の水梨の様子がわかる写真集を見ると、おつぴさんの若い頃に会えます。どの写真を見ても辛く苦勞の多い仕事をばかりなのに、おつぴさんは笑って仕事をしています。田んぼも葉たばこの仕事も、山

を切り開いて畑にする仕事も
どれも私にはとうていできな
い仕事ばかりで、
(すごいなあ。真似できない
なあ。)

と感じました。

水梨のお米はとてもおいしいです。畑も土が黒々とふかふかしておいしい野菜が何でもよく育ちます。この土地を作ってくれたのは、家族がおなかいっぱい食べられて笑ってくらせるようにと、一生けん命に耕してくれたおっぴさんです。今の自分の生活があるのは、おっぴさんのおかげだと思いました。

おっぴさんが亡くなったと知ったとき、悲しくて涙が流れて、とても辛かったです。

おっぴさん、私が学校に行くときに「いつてらっしゃい。」と見送ってくれ、帰りは「おかえり。」と迎えてくれてありがとう。一緒に遊んでくれてありがとう。家のために一生けん命働いてくれてありがとう。常に感謝の気持ちで生活していきたいと思います。おっぴさん、大好きです。

6



平成30年度 赤い羽根募金箱をつくろうコンクール入賞作品

気仙沼市共同募金委員会では、次代を担う子どもたちに共同募金運動に関心を持ち、理解を深めてもらうことを目的に「赤い羽根募金箱をつくろうコンクール」を開催しました。今号では、入賞作品をご紹介します。



気仙沼市共同募金委員会賞



鹿折小学校 5年
み うら この か
三浦好賀

こだわり
ポイント

家に赤い羽根をつけて「美味しくて幸せなおかしの家」にしました。募金口はえんとつです。取出口は二重ドアにしました。窓から中を見ることができ、人形クッキーが幸せそうにしています。あと、お礼のぼきんがあったら、えんとつの上（ふた）を開けて入れられます。この募金箱で困っている人の役に立ててほしいと思います。



気仙沼市民生委員児童委員協議会賞



松岩小学校 6年
つ し ま きょう か
津島杏花

こだわり
ポイント

500円玉より小さい穴を開けてあり、1～100円玉は手前の取り出し口に、500円玉はおくの取り出し口から取り出せるようにしました。



宮城県共同募金会賞



唐桑小学校 6年
す す き さ あや
鈴木紗彩

こだわり
ポイント

よごれたり、こわれたりしないように、セロハンテープでコーティングしました。正面に赤い羽根をはったのがポイントです。



気仙沼市ボランティア連絡会賞



松岩小学校 6年
あ べ しゅう や
安部秀也

こだわり
ポイント

手は紙ねんどで作り、その上のハートとはね（赤）をめだつように周りの色をうすくしました。中にはためるため金ぞくの固い缶に、取り出しやすくするためひもをつけました。



気仙沼市長賞



大島小学校 6年
にい つま せん
新妻千里

こだわり
ポイント

みんなの気持ち（ハート）が、ぼ金箱にいっぱい入るように側面をハートでうめました。



気仙沼商工会議所賞



松岩小学校 5年
さい じょう たか と
西城貴叶

こだわり
ポイント

ぼきん箱についているししおとしにこだわりました。お金を入れたときにししおとしにかいた鳥がおじぎをするように作りしました。がらは木にしました。



気仙沼市教育委員会賞



唐桑小学校 5年
こ ばやし
小林さくら

こだわり
ポイント

赤い羽根の部分にちぎった紙を張り、羽のようを表現しました。募金をしてくれる人がすぐ赤い羽根募金箱と分かるように、表の上に大きく書いたところもこだわりポイントです。



三陸新報社賞



大島小学校 5年
むら かみ まい
村上舞

こだわり
ポイント

「赤い羽根」と書いたところです。



気仙沼市社会福祉協議会賞



唐桑小学校 5年
くま がい ま こ
熊谷茉莉子

こだわり
ポイント

- ・こわれにくいようにプラスチックを使った。
- ・持ち運びやすいように持ち手がついたふたにした。
- ・取り出し口を大きくした。



気仙沼ケーブルネットワーク賞



鹿折小学校 6年
ち ば まさ き
千葉真生

こだわり
ポイント

穴の大きさを、500円玉まで入るように細く計りました。





赤い羽根 共同募金

10月1日▶12月31日

赤い羽根共同募金運動がスタートします!

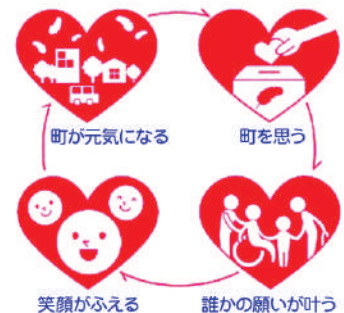
みんなのまちをみんなでよくするために

10月1日から「赤い羽根共同募金運動」が全国一斉に始まります。今年も皆さまのあたたかいご支援とご協力をお願いいたします。

平成30年度目標額(赤い羽根募金と歳末たすけあい募金)は13,380,000円です

地域のコミュニティづくりの大きな支えとなっています

共同募金は、だれもが安心して暮らせる「まちづくり」を進めるために必要な、住民団体やボランティア等による地域福祉活動を支援します。



平成29年度「赤い羽根募金」運動の実績報告

赤い羽根 募金総額

8,520,082円

内訳

毎戸募金 7,365,848円
学校募金 128,845円
法人募金 30,862円
イベント募金 46,910円

街頭募金 614,900円
個人募金 10,408円
その他 322,309円

市民の皆さまからたくさんの善意をお寄せいただきました。ご協力ありがとうございました。
前年度にお寄せいただいた募金から、今年度は気仙沼市内の下記団体の事業や活動に使われます。

【町内会活動支援配分】(宮城県共同募金会が行う県域配分事業)

団 体 名	配 分 内 容	配分額(円)
要害共栄会、中郷振興会、新浜町二区自治会、塚沢自治会、西八幡町自治会、大初平自治会、大谷東区振興会、古谷館自治会、只越自治会、南郷一区自治会	町内会の取り組む安心・安全なまちづくり事業の支援として、大規模災害発生時や地域行事等に使用することを目的とした、テントの配分	1,700,000

【住民力・地域力・福祉力を高める支援事業配分】(宮城県共同募金会が行う県域配分事業)

団 体 名	配 分 内 容	配分額(円)
森前林自治会、新町二区自治会、九条四区自治会、大島の自然を守る会、東中才二区自治会、小鯖自治会、中開発協議会、崎浜自治会、九条一区自治会、唐桑大漁唄込復活推進実行委員会、気仙沼市上地区社会福祉協議会、長磯原自治会シニア部	多様な生活課題や地域の課題解決に役立つ事業の一環として効果的・有効的に活用されるよう配分	2,132,000

【地域福祉活動配分】

団 体 名	配 分 内 容	配分額(円)
社会福祉法人 気仙沼市 社会福祉協議会	気仙沼市社会福祉協議会が実施する、地域福祉活動事業(小地域福祉活動助成、ガイドヘルパー派遣事業、敬老作文コンクール、災害ボランティアセンタースタッフ養成講座、社協だよりの発行など)に配分	4,668,921



赤い羽根共同募金

気仙沼市共同募金委員会

(☎22-0709 気仙沼市社会福祉協議会内)

ご意見・ご感想など、お待ちしております。

TEL 0226-22-0709/FAX 0226-22-4467 E-mail: keshakyo@watch.ocn.ne.jp

介護サービス情報公表システム <http://www.kaigokensaku.jp/>



この広報紙は「赤い羽根」共同募金の配分によって作成しました。